

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和2年度

「マンゴチ県ムリブワンジ・コミュニティ病院小児科病棟建設計画」
署名式

2020年11月6日



(左) 贈与契約の署名を行う岩切敏大使とジョセフィーヌ・ブシク、ムリブワンジ・コミュニティ病院代表

(右) 岩切大使、ナマリカ次官およびムリブワンジ・コミュニティ病院関係者



スピーチを行う岩切大使（左）と保健・人口省ナマリカ次官（右）

2020年11月6日、岩切敏大使とムリブワンジ・コミュニティ病院のジョセフィーヌ・ブシク代表は、「マンゴチ県ムリブワンジ・コミュニティ病院小児科病棟建設計画」に関する草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。この贈与契約は、ムリブワンジ・コミュニティ病院が小児科病棟を建設するための資金、90,907米ドルを日本政府が同病院に供与するというものです。本贈与契約署名式には、ナマリカ保健・人口省次官も出席しました。

マラウイにおいては、基本的な小児救急医療へのアクセスには限りがあり、特にマンゴチ県の農村地域では、地理的な障害により子供や一般の人々の適切な医療サービスへのアクセスが住民にとって大きな課題です。岩切大使は、「子どもたちはマラウイの明るい未来構築にとって重要な人材であり、国の未来を担う子供たちへの質の高い医療サービスの提供は非常に重要です。建設される新しい小児科病棟は、周辺地域の子供たちの適切な医療サービスへのアクセスに寄与します。」と述べました。

岩切大使はまた、病院の経営陣に対し、贈与された資金を適切に運用して、子どもたちが安全な医療設備の下で適切な治療が受けられるよう長きに亘り地域に貢献できる質の高い小児病棟の建設を行うように要請しました。さらに、中央と地方レベルの両政府やマンゴチ司教区およびキリスト教保健協会に対して、本プロジェクトを実施するムリブワンジ・コミュニティ病院への支援を呼びかけました。